

高齢者をだます卑劣な詐欺犯を成敗！

本日7日、区立勤労福祉会館（杉並区桃井4-3-2）では、「杉並区振り込め詐欺根絶集会」が開催されました。このイベントは、区と区内警察署など関係機関や地域団体とともに、振り込め詐欺根絶を目的としたもので、アントニオ猪木さんのモノマネを得意とするお笑い芸人のアントニオ小猪木さんがレスリングスタイルで登場。必殺技の卍字固めで詐欺犯を成敗すると、会場は大きな笑いと拍手に包まれました。

杉並区と区内3警察署などが協力して、オレオレ詐欺などの特殊詐欺を根絶するための集会を開催しました。この根絶集会は、平成25年から毎年開催しているものですが、特殊詐欺の被害は深刻化し、社会問題として新聞やニュースで取り上げられているにも関わらず、未だに被害を根絶するに至っていません。

杉並区の被害状況は、平成28年1月～12月に82件が発生しおよそ3億8800万円の被害額が報告されています。これは、件数・金額ともに前年を上回るものです。この日の集会でも、杉並西荻北郵便局の樋野浩一局長が、口座から大金を下ろそうとしているお客様に声掛けし、振り込め詐欺の被害を未然に防ぐことができたことを報告しました。その方は、老人ホームの入所金として、架空請求を受けていたもので、最初はATMで50万円ずつ下ろしていたようですが、要求額を満たさず窓口を訪ねて来て難を免れました。杉並西荻北郵便局では、大金の引き出し時には、必ず用途を尋ねることにしているため、昨年だけでも3件の振り込め詐欺を未然に防ぎました。

このように、高齢者の子や孫を思う気持ちと人を騙してお金を奪い取ろうとする気持ちが交わると、必ず詐欺が成立してしまいます。杉並区でも、こうした犯人との接点をなくすため、自宅の電話機に取り付ける自動通話録音機の普及に努めていますが、未だに自分だけは大丈夫と思う方がいます。

そこで、集会のステージでは、「根絶詐欺啓発ステージ」として、毎年、お笑い芸人などを招いて、わかりやすく特殊詐欺の巧妙な手口や防止策を伝えています。今回は、アントニオ猪木さんのモノマネで有名なアントニオ小猪木さんです。小猪木さんが、赤いタオルを首に掛け、レスリングスタイルで登場。「皆さん、元気ですか？」「元気があれば、詐欺も防げる」と声掛けすると、会場からは大きな拍手が沸きました。また、ステージに特殊詐欺の犯人役が現れると、必殺技のコブラツイストと卍字固めをお見舞いし、犯人を成敗しました。そして、集会の最後には、小猪木さんの「根絶ダァーッ！」に合わせ、400名ほどの参加者全員が拳を3回突き上げました。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当 03-3312-2111 内線1582